

## 2017年日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 学術集会発表資料

**MCGで冠動脈疾患を早期検知できれば、MCGの実施でミャンマーでの急性心筋梗塞を多く予防できる。**

Than Htay, Thet Hein, Myint Zaw, Pyay Nyein Mg, Ag Ag, Wai Phyo, Nway Nay Chi Naing, Myint Zu Thin, Kinzo Ueda

Japan Myanmar Medical Help Group (JMMHG) Activity

**背景:**

ミャンマーでは冠動脈疾患(CAD)は、感染症を除くと最も高い死因の一つである。ミャンマーではカテーテル治療ができる施設が限られており<sup>(\*)</sup>、適切な治療を開始するためには、精度の高い診断がより重要である。

**目的:**

MCGは、安静心電図を解析することにより虚血性心疾患(IHD)を検知する新しい技術として米国で開発された。この研究では、急性心筋梗塞(ACS)を予防するため安静心電図を用いたMCGによる胸痛患者のCAD早期検知が可能か否かについて評価を行う。

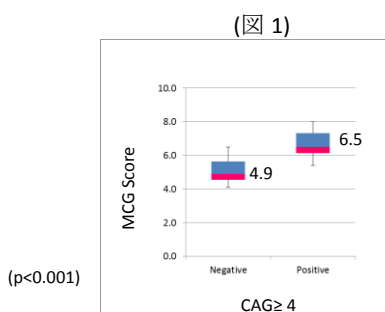
**方法:**

MCGによるCAD検知の正診率を評価するため、計20名(MCG score  $\geq 4$ )の被験者がCAGの実施とその結果の比較のために選ばれた。また、一枝または複数枝における75%以上の冠動脈狭窄(75%~100%)を一刻も早く適切な治療を開始する必要がある重篤な冠動脈疾患と定義した。

**結果:**

MCGスコアは陰性群では4.9、陽性群では6.5であった( $P < 0.001$ )。(図1)

MCGカットオフ6以上では、感度80.0%、特異度90.0%、PPV88.9%、NPV81.8%、正診率85.0%であった。(図2)



(図2)

	CAD(+)	CAD(-)	Best cut off value: 6.0
MCG(+)	8	1	Sensitivity 80.0% Specificity 90.0%
MCG(-)	2	9	PPV 88.9% NPV 81.8% Accuracy 85.0%

( $p < 0.01$ )

※False Negative 2例にはコラテが見られた。  
False Positive 1例は擧縮の影響と考えられる。  
True Negative は1例を除いては、<50%又は<75%の狭窄が見られた。

**結論:**

MCGは高い感度と特異度を示しており、高いMCGのスコアは重篤なCADを示していると考えられる。MCGは、ACS発症前に適切な治療を開始するための早期検知、並びにCAGにより診断されたCADのフォローアップに利用することができる。

(\*)約5,000万人の人口に対してカテーテル治療ができる施設が15か所、カテーテル治療ができる医師が50人未満であり(発表時)、ACS発症前の適切な治療を実施するためのCAD早期検知について、国全体をカバーできていない状況。